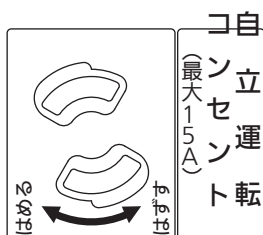
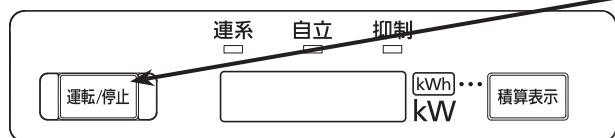


連系運転と自立運転の切り替え

連系運転から自立運転にするには

太陽光発電用ブレーカを OFF（切）にすることにより、自立運転に切り替えることができます。自立運転では、パワーコンディショナ底面の自立運転コンセントから供給される電力により、電気製品を使用することができます。



※ コンセントカバーが装着されている場合があります。その場合、使用後は必ずコンセントカバーをはめてください。



1. **運転/停止** ボタンを押し、停止のボタン位置にする

表示が消え、パワーコンディショナは運転を停止します。

2. 太陽光発電用ブレーカを OFF（切）にする

3. **運転/停止** ボタンを押し、運転のボタン位置にする

表示部がカウントダウンを開始すると同時に自立運転ランプが点滅します。約 10 秒後に自立運転に切り替わり自立運転ランプが点灯し、自立運転コンセントに AC100V が出力されます。

- 自立運転時の電力表示は、自立運転コンセントに接続された機器の消費電力を表示します。
- 自立運転していても、電気製品を使用していない場合は、電力表示は 0.0kW となります。

お願い

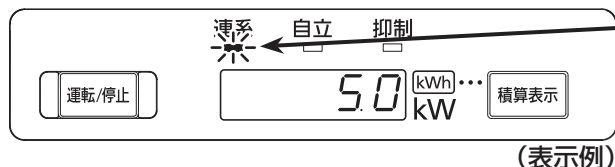
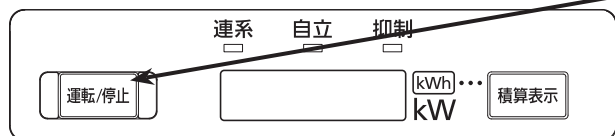
- 自立運転コンセントへのプラグの抜き差しは、パワーコンディショナの運転を停止し、ご使用される電気製品のスイッチを OFF（切）にした状態で行ってください。
- 必ずプラグをロックした状態で使用してください。

自立運転を停止するには

1. **運転/停止** ボタンを押し、停止のボタン位置にする

表示部の自立運転ランプが消え、自立運転コンセントの出力が停止します。

自立運転から連系運転にするには



1. **運転/停止** ボタンを押し、停止のボタン位置にする

表示が消え、パワーコンディショナは運転を停止します。

2. 住宅用分電盤の太陽光発電用ブレーカを ON（入）にする

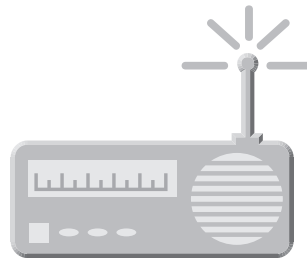
3. **運転/停止** ボタンを押す

表示部がカウントダウンを開始すると同時に連系ランプが点滅し（約 300 秒間）その後、連系ランプが点灯し運転を開始します。

自立運転コンセントで使える機器例



テレビ



ラジオ

スマートフォンなどの
充電器

警告

■自立運転コンセントに以下の製品をつながない

発電電力は天候により変動します。パワーコンディショナの発電電力が自立運転用コンセントにつないだ電気機器の消費電力より小さい時は運転を停止します。途中で電源が切れると、生命や財産に損害を受けるおそれがある以下の機器は使用しないでください。

- ・全ての医療機器、灯油やガスを用いた暖房機器、電気コンロなど
- ・デスクトップパソコンなどの情報機器およびその周辺機器、炊飯器、電子レンジなどの調理器具
- ・その他、電源が切れると生命や財産に損害を受けるおそれのある機器

注意

■タコ足配線での使用はしない

火災や機器の故障のおそれがあります。

お知らせ

- 自立運転コンセントはお客さまのご要望により増設することができますが、本体のコンセントと合わせて最大15A以下でご使用ください。最大消費電力が1,500W以上の機器は使用できません。15Aを超える電流が流れた場合、本機内の保護装置が働く場合があります。保護装置が数回働くと自動的に運転を再開しなくなります。
- 極性付きプラグ（左右の刃幅が異なるプラグ）は、プラグが抜けなくなるおそれがあるため、本製品では使用できません。

自立運転時のご注意（点検コードは13ページ参照）

- くもりや朝夕など太陽電池モジュールの発電量が少ない場合は、使用する電気製品の消費電力によって運転できず、機器内の保護装置が働く場合があります。保護装置が数回働くと自動的に運転を再開しなくなります。
- 太陽電池モジュールが十分に発電している時でも、洗濯機、掃除機など、モータを内蔵している電気製品は、運転開始時に大きな電流が流れるため、使用できない場合があります。冷蔵庫のような、連続的に電力の供給が必要な機器には使用できません。
- 自立運転中に日没となった場合、翌朝は自動的に連系運転モードが選択されます。停電から復帰して、太陽光発電用ブレーカがON（入）であれば、自動的に連系運転を開始します。太陽光発電用ブレーカがOFF（切）であれば、ON（入）にして **運転/停止** ボタンを押し、「停止」→「運転」にすることで、連系運転を開始します。
太陽光発電用ブレーカをOFF（切）のまま、**運転/停止** ボタンを押し、「停止」→「運転」にすると、自立運転を開始します。